

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>採血後の検体保存における経時的な LD 活性低下の解明 —LD アイソザイムのサブユニット構造との関係性—</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>検査技術部 田中満里奈</p>
<p>利用目的</p>	<p>検体保存による乳酸デヒドロゲナーゼ (LD) 活性低下の解明</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>2023 年 8 月以降に検体検査室に提出される検体のうち、LD/AST 比等の検査結果をもとに、健常 (LD₂ 高値)、心筋梗塞 (LD₁ 高値)、急性肝炎 (LD₅ 高値) が予想される検体約 50 例を研究対象とします。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>対象検体について、採血当日および一定期間保管後に、LD 活性測定および LD アイソザイム検査を実施し、保存による各 LD アイソザイムの失活率を算出します。また得られた各 LD アイソザイムの失活率について、各 LD アイソザイムの分子構造との関係性を明らかにします。</p>
<p>問合わせ先</p>	<p>代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>本研究は、患者情報非対応の残余検体を用いるものであり、使用された検体により個人が特定される、または、患者情報が流出することはありません。また、本研究への参加を拒否した場合にも、不利益が生じることはありません。</p>